

# 我が国の対中南米政策

平成21年11月

## 国際場裡での連携強化

～高まる発言力～

- ▶ 中南米全体で33か国、伝統的に親日的
- ▶ ブラジル、メキシコ等の国際的存在感の高まり



- ▶ 民主主義、市場経済の価値基盤を共有
- ⇒ 主要課題についての連携の強化



### ▶ 気候変動

- ・ブラジル等は独自にCO2削減目標を発表
- ・メキシコは「緑の基金」(途上国にも応分の負担)を提唱

### ▶ 軍縮・不拡散

- ・中南米は世界で最初に非核地帯を設定(1968年)

### ▶ 安保理改革

- ・ブラジルとは常任理事国入りで協力

## 経済関係の強化

～経済的重要性が増大～

### ▶ 有望な5億人の成長市場

- ・GDP4.2兆ドル(08年)、中国と同規模、ASEANの約3倍

### ▶ 食料・資源・エネルギーの供給源

- ・国際的な資源争奪の舞台に

### ▶ 中南米では経済における政府の役割大

- ・近年、資源の国家管理の傾向

⇒ 官民連携による対応が必要



### ▶ 経済連携協定(EPA)等の枠組みの整備

- ・EPA:メキシコ、チリ、ペルー
- ・投資協定、租税協定、社会保障協定等
- ・官民合同の協議枠組み(ブラジル、ベネズエラ等)

### ▶ 食料・資源の安定供給の確保

- ・ベネズエラ(石油・天然ガス)、ポリピア(リチウム)等

### ▶ 技術力を伴う大型インフラ案件の獲得

- ・デジタルTV、高速鉄道、モノレール等

## 安定的発展に対する支援

～貧困・格差が不安定要因～

### ▶ 経済発展の一方で、大きな貧富の格差

→ 経済危機で貧困層に打撃

### ▶ 民主化定着の中で急進的左派政権も誕生

⇒ 貧困削減、格差是正、インフラ整備等が必要



### ▶ 経済社会開発のための支援(ODA)

- ・教育、医療、環境、防災、農村開発、インフラ等

### ▶ 民主制度定着のための支援

### ▶ 域内中進国と協力して第三国支援

- ・メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリと協力

## 2010年の外交活動

### ▶ FEALAC(アジア中南米協力フォーラム)第4回外相会合(2010年1月、東京)

- ・1999年創設、アジア15か国・中南米18か国から構成。両地域間の交流の促進
- ・日本はアジアと中南米の交流と協力をリード

### ▶ APEC日本開催等を踏まえた要人往来、政策対話の活発化

### ▶ 記念事業を通じる交流の拡大

- ・日本メキシコ交流400周年(2009-2010年)
- ・建国200年(アルゼンチン、チリ、コロンビア、メキシコ等)
- ▶ 「架け橋」となる日系人との連携、在日ブラジル・ペルー人等に対する支援